

# 厚生年金保険・国民年金事業の概況 (平成 24 年 6 月現在)

## 1. 総括

### (1) 適用状況

- 平成24年6月末の国民年金と厚生年金保険の被保険者数は、6,335万人であり、前年同月に比べて、48万人(0.8%)減少している。

表1 制度別適用状況

	事業所数	被保険者数(人)			標準報酬月額 の平均(円)
		総数	男子	女子	
厚生年金保険	1,750,877	35,076,495	22,513,649	12,562,846	301,591
船員以外	1,746,235	35,022,745	22,459,899	12,562,846	301,476
一般男子	・	22,459,287	22,459,287	・	342,261
女子	・	12,562,846	・	12,562,846	228,559
坑内員	・	612	612	・	344,301
船員	4,642	53,750	53,750	・	376,783
国民年金	・	28,273,045	9,591,742	18,681,303	・
第1号	・	18,240,564	9,376,478	8,864,086	・
任意加入	・	317,066	103,093	213,973	・
第3号	・	9,715,415	112,171	9,603,244	・
合計	・	63,349,540	32,105,391	31,244,149	・
人口	・	127,550,000	62,030,000	65,520,000	・
うち20～59歳	・	64,010,000	32,310,000	31,720,000	・
共済組合(平成23年3月末)	・	4,418,146	2,840,126	1,578,020	・

注1. 厚生年金保険の被保険者のうち、坑内員及び船員は全員男子とみなした。

2. 人口は翌月1日現在の推計人口(総務省統計局)である。

- 平成24年6月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者数(同一の年金種別を除く延人数)は、4,203万人であり、前年同月に比べて、66万人(1.6%)増加している。

表2 制度別年金受給者数

(単位:人)

	総数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	30,778,515	13,961,867	11,482,814	384,856	4,902,788	46,190
旧共済組合を除く	30,180,563	13,596,143	11,388,075	380,158	4,771,133	45,054
旧法	2,324,796	953,581	775,814	54,933	496,346	44,122
新法	27,809,965	12,620,624	10,608,311	323,574	4,257,456	・
(再掲)基礎あり	17,863,402	9,609,991	7,965,690	214,205	73,516	0
基礎または定額あり	20,266,395	10,899,685	9,366,710	・	・	・
基礎繰上げあり	1,542,528	364,536	1,177,992	・	・	・
基礎繰上げなし	18,723,867	10,535,149	8,188,718	・	・	・
基礎及び定額なし	2,962,540	1,720,939	1,241,601	・	・	・
船員保険(旧法)	45,802	21,938	3,950	1,651	17,331	932
旧共済組合計	597,952	365,724	94,739	4,698	131,655	1,136
旧法	230,733	176,787	7,801	2,066	42,943	1,136
新法	367,219	188,937	86,938	2,632	88,712	・
(再掲)基礎あり	264,221	182,045	79,875	2,089	212	0
国民年金 計	29,373,258	26,553,390	962,762	1,750,818	106,288	0
旧法抛出处	2,619,434	1,560,945	962,762	76,205	19,522	・
新法基礎年金	26,753,824	24,992,445	・	1,674,613	86,766	・
(再掲)基礎のみ	8,000,310	6,534,952	・	1,439,386	25,972	・
福祉年金	2,798	2,798	0	0	0	0
合計	42,026,948	30,726,019	4,400,011	1,919,380	4,935,348	46,190

注1. 新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のは「通算老齢年金」に計上している。新法退職共済年金についても同様。(表3において同じ。)

2. 人数の合計は、厚生年金保険と同一の年金種別の基礎年金を併給している者の重複分を控除した数である。

3. 「基礎あり」は、同一の年金種別の基礎年金の受給権を有する者をいう。

4. 「基礎のみ」は、同一の年金種別の厚生年金保険(旧共済組合を除く。)の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。

5. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、第1号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法抛出处に計上している。(表3において同じ。)

- 平成24年6月末の国民年金、厚生年金保険及び老齢福祉年金の受給者の年金総額は、45兆6千億円であり、前年同月に比べて、1兆1千億円（2.4%）増加している。

表3 制度別受給者年金総額

(単位：百万円)

	総数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	26,317,187	18,526,714	2,405,795	298,664	5,073,889	12,124
厚生年金基金代行分除く	24,678,302	16,997,259	2,296,366	298,664	5,073,889	12,124
旧共済組合を除く	25,470,353	17,869,870	2,380,557	293,604	4,914,471	11,851
旧法	2,594,718	1,698,527	301,312	65,322	517,943	11,612
厚生年金基金代行分除く	2,564,327	1,673,230	296,219	65,322	517,943	11,612
新法	22,780,344	16,108,287	2,077,804	224,867	4,369,386	・
(別掲)基礎年金	12,323,301	6,798,686	5,266,193	184,699	73,723	・
厚生年金基金代行分除く	21,171,849	14,604,129	1,973,467	224,867	4,369,386	・
船員保険(旧法)	95,292	63,056	1,441	3,415	27,142	238
旧共済組合計	846,834	656,844	25,238	5,060	159,418	274
旧法	478,530	419,855	3,717	3,289	51,396	274
新法	368,304	236,989	21,522	1,771	108,022	・
(別掲)基礎年金	197,715	136,742	58,989	1,768	216	・
国民年金 計	19,254,377	17,396,092	213,301	1,543,713	101,271	・
旧法拠出制	1,043,682	753,819	213,301	67,567	8,995	・
新法基礎年金	18,210,695	16,642,273	・	1,476,146	92,276	・
(再掲)基礎のみ	5,366,590	4,065,889	・	1,274,048	26,653	・
福祉年金	1,127	1,127	・	・	・	・
合 計	45,572,691	35,923,934	2,619,096	1,842,377	5,175,160	12,124

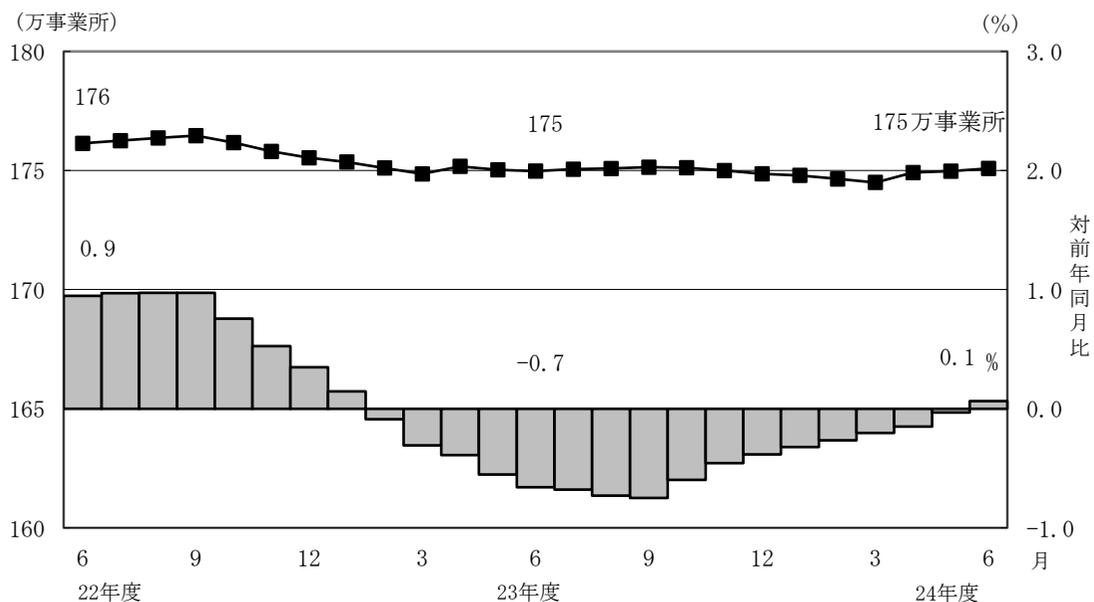
- 注1. 年金総額には一部停止額を含む。
- 注2. 「基礎のみ」は同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者の年金総額である。

## 2. 厚生年金保険

### (1) 適用状況

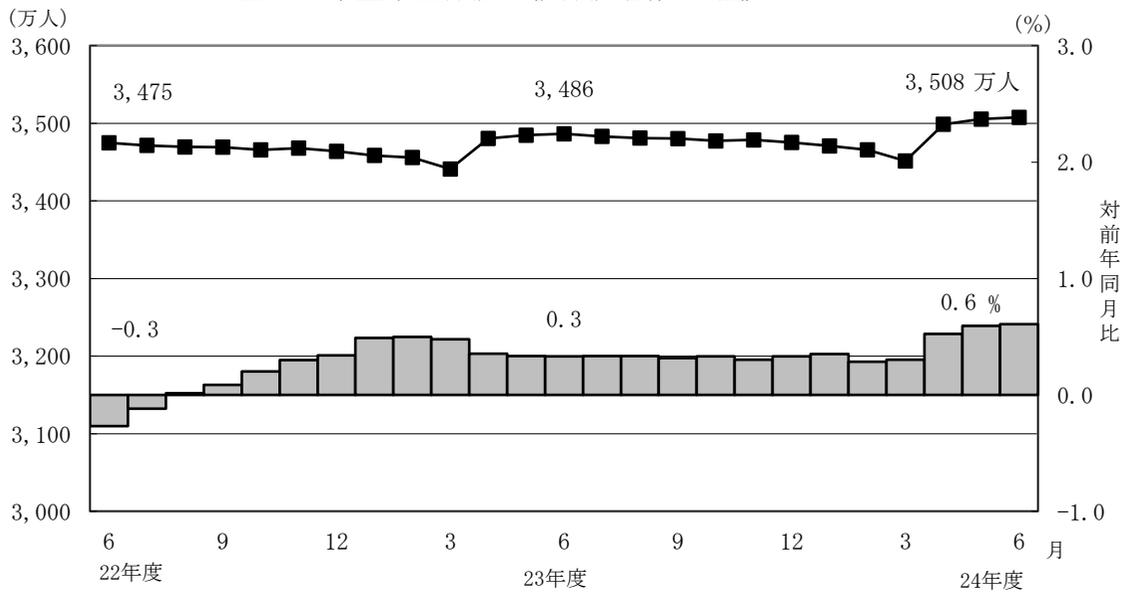
- 平成24年6月末の厚生年金保険の適用事業所数は175万事業所であり、前年同月に比べて1千事業所（0.1%）増加している。

図1 厚生年金保険 適用事業所数の推移



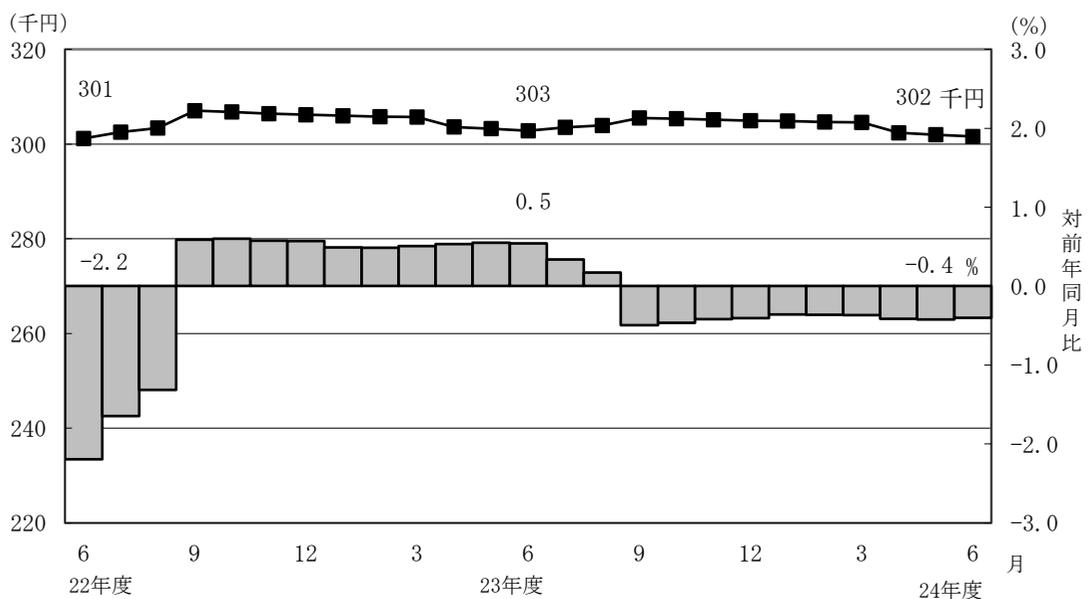
- 厚生年金保険の被保険者数は3,508万人となっており、前年同月に比べて21万人(0.6%)増加している。内訳をみると、一般男子が2,246万人(対前年同月比5万人、0.2%増)、女子が1,256万人(対前年同月比17万人、1.3%増)、坑内員が6百人(対前年同月比4人、0.6%減)、船員が5万人(対前年同月比4百人、0.7%減)である。

図2 厚生年金保険 被保険者数の推移



- 標準報酬月額の前平均は、30万1,591円となっており、前年同月に比べて0.4%減少している。内訳をみると、一般男子は34万2,261円(対前年同月比0.4%減)、女子は22万8,559円(対前年同月比0.1%増)、坑内員は34万4,301円(対前年同月比0.7%減)、船員が37万6,783円(0.2%増)である。

図3 厚生年金保険 標準報酬月額の前平均の推移

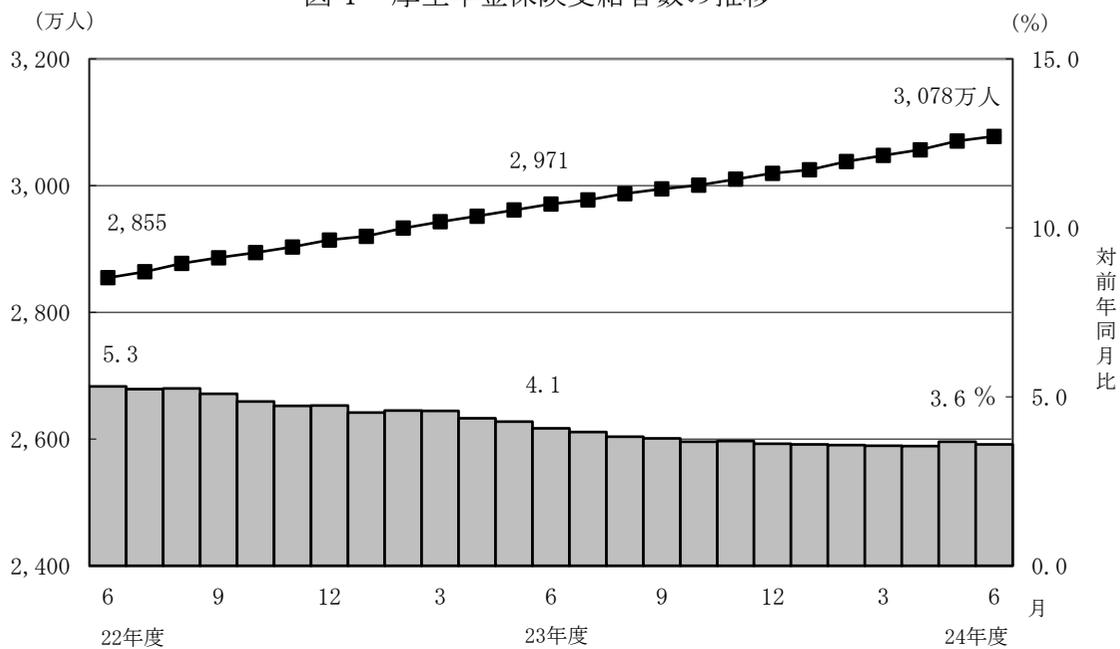


- 賞与支給事業所数は16万事業所、賞与支給被保険者数は930万人、標準賞与額の前平均は55万1,129円となっている。

## (2) 給付状況

- 平成24年6月末の厚生年金保険受給者数は3,078万人（旧法厚年分232万人、新法厚年分2,781万人、旧法船保分5万人、旧共済分60万人）で、前年同月に比べて107万人（3.6%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,544万人（旧法厚年分173万人、新法厚年分2,323万人、旧法船保分3万人、旧共済分46万人）で、前年同月に比べて95万人（3.9%）増加している。
- 障害給付の受給者数は38万人（旧法厚年分5万人、新法厚年分32万人、旧法船保分2千人、旧共済分5千人）で、前年同月に比べて1万人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は495万人（旧法厚年分54万人、新法厚年分426万人、旧法船保分2万人、旧共済分13万人）で、前年同月に比べて11万人（2.3%）増加している。

図4 厚生年金保険受給者数の推移



- 平成24年6月末の老齢年金受給者の平均年金月額は、15万1,974円となっている。老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、7万6,272円である。

- 平成24年6月における失業給付との調整に該当する受給権者数は8万人、高年齢雇用継続給付との併給調整に該当する受給権者数は35万人となっている。

表4 雇用保険の給付と老齢厚生年金との調整

	失業給付									
	件数			総停止年金額(千円)			平均停止月額(円)			
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	
平成 24年	1月	81,807	66,013	15,794	67,466,040	63,605,408	3,860,633	68,725	80,294	20,370
	2月	79,216	64,050	15,166	65,962,157	62,226,127	3,736,030	69,391	80,960	20,529
	3月	78,622	63,564	15,058	65,743,544	61,995,654	3,747,890	69,683	81,277	20,741
	4月	73,430	59,260	14,170	60,745,592	57,257,375	3,488,217	68,938	80,517	20,514
	5月	75,550	61,133	14,417	61,771,221	58,285,408	3,485,814	68,135	79,452	20,149
	6月	83,027	67,170	15,857	67,663,268	63,905,168	3,758,099	67,913	79,283	19,750

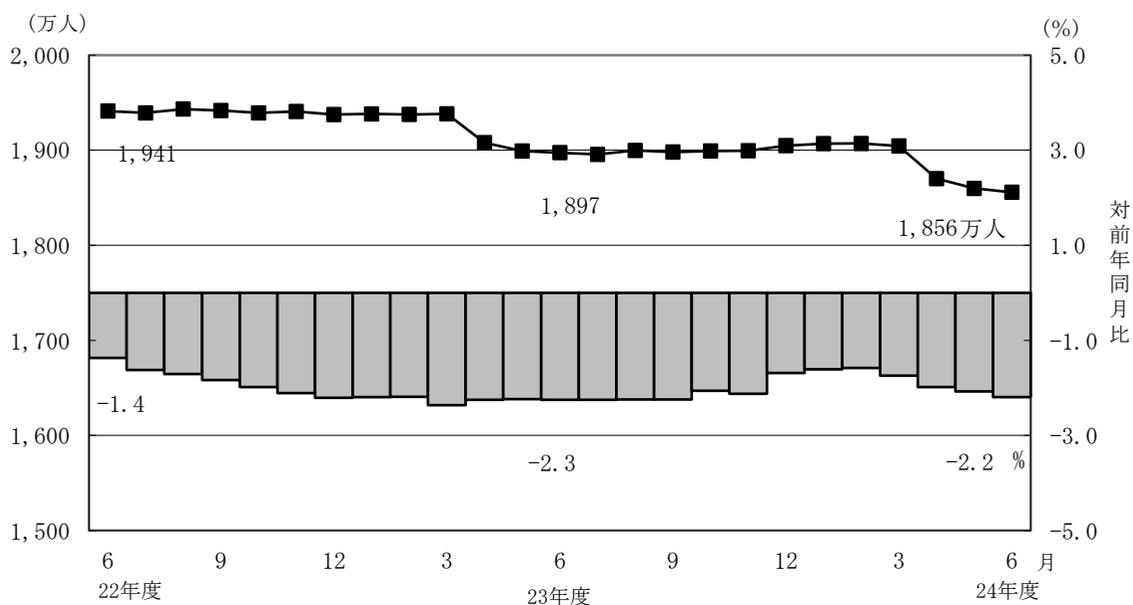
	高年齢雇用継続給付									
	件数			高年齢雇用継続給付による停止総額(千円)			平均停止月額(円)			
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	
平成 24年	1月	364,082	354,530	9,552	46,448,865	45,576,384	872,481	10,632	10,713	7,612
	2月	363,791	354,225	9,566	46,462,942	45,587,759	875,184	10,643	10,725	7,624
	3月	365,007	355,440	9,567	46,588,058	45,714,392	873,666	10,636	10,718	7,610
	4月	358,659	349,365	9,294	45,766,166	44,911,964	854,202	10,634	10,713	7,659
	5月	347,855	338,710	9,145	44,377,477	43,543,156	834,321	10,631	10,713	7,603
	6月	348,872	339,709	9,163	44,575,835	43,735,382	840,452	10,648	10,729	7,644

### 3. 国民年金

#### (1) 適用状況

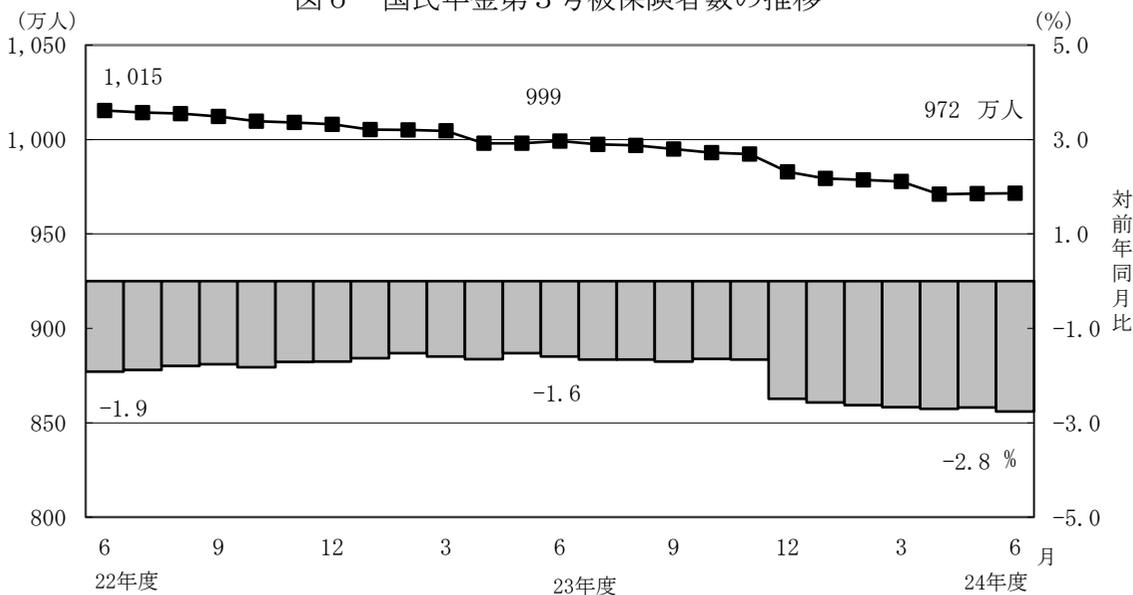
- 平成24年6月末の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む。）は、1,856万人となっており、前年同月に比べて42万人（2.2%）減少している。内訳をみると、男子は948万人（対前年同月比22万人、2.2%減）、女子は908万人（対前年同月比20万人、2.1%減）である。

図5 国民年金第1号被保険者数（任意加入を含む）の推移



- 第3号被保険者数は972万人となっており、前年同月に比べて28万人（2.8%）減少している。内訳をみると、男子は11万人（対前年同月比3千人、3.0%減）、女子は960万人（対前年同月比27万人、2.8%減）となっている。

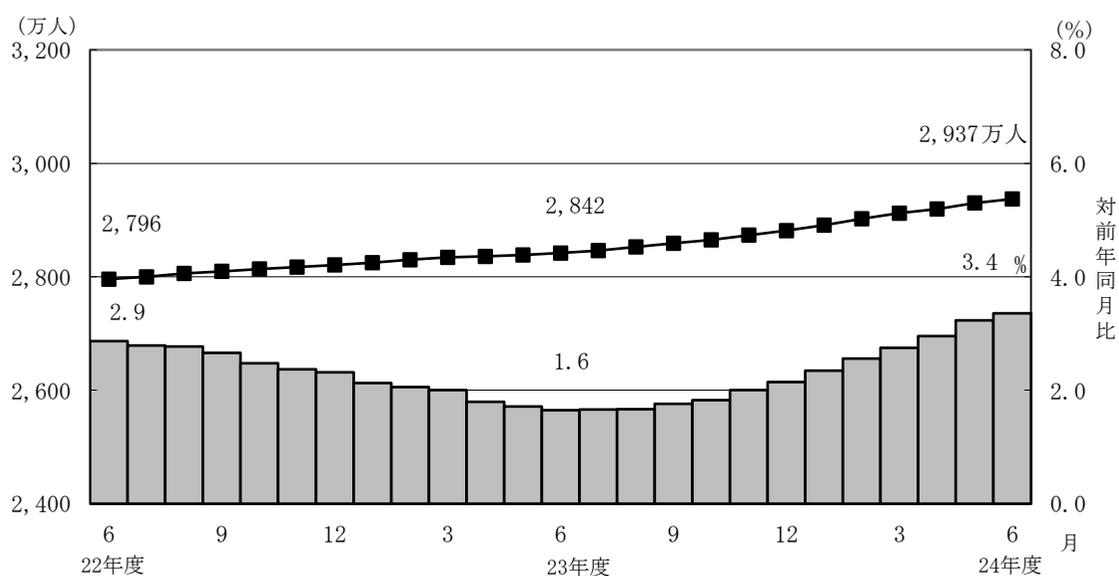
図6 国民年金第3号被保険者数の推移



## (2) 給付状況

- 平成24年6月末の国民年金受給者数は2,937万人（旧法拠出制262万人、基礎年金2,675万人）で、前年同月に比べて95万人（3.4%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,752万人（旧法拠出制252万人、基礎年金2,499万人）で、前年同月に比べて93万人（3.5%）増加している。
- 障害給付の受給者数は175万人（旧法拠出制8万人、基礎年金167万人）で、前年同月に比べて3万人（1.6%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は11万人（旧法拠出制2万人、基礎年金9万人）で、前年同月に比べて2千人（2.3%）減少している。

図7 国民年金受給者数の推移



- 国民年金の老齢年金受給者の平均年金月額は、平成24年6月末で5万4,595円となっている。

老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、5万1,031円となっている。

- 旧法老齢年金受給権者及び厚生年金の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者について繰上げ受給の状況をみると、6月は新規裁定者2万1千人のうち繰上げ受給権者が4千人となっており、繰上げ受給率は20.7%である。なお、平成23年度新規裁定者の繰上げ受給率は25.3%となっている。